

ヒトガタ 通信

発行／(財)とらまる人形劇研究所

〒712-8014 岡山県倉敷市連島中央1丁目11-7

TEL 086-486-1305 FAX 086-486-1306 E-mail:puppet@toramaru.link



第5号 2018.02

30年度の新作が決定しました！

日本には、四季それぞれの変化や趣きがあり、それによってつちかわれてきた豊かな風土があります。現代っ子の主人公とコワモテのカミナリ様が繰り広げる、季節ごとのエピソードを、笑いとおちょっぴり涙も添えて、お届けします。

とらまる人形劇団 第14回作品

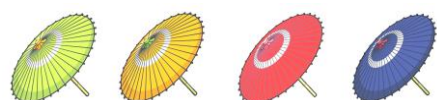
カミナリさまのおしごと

昔話「傘屋の天のぼりより」

演出／大久保一康・音楽／西尾賢



うららかなある春の日、傘屋の母親と息子の庄太が庭いっばいに傘を干していました。風が出てきたので庄太が傘をとりこもうとしたとき、春一番が吹いて、庄太はあれよあれよという間に傘をもったまま飛ばされてしまいました。着いたところは雲の上。目の前にあらわれたカミナリ様の顔を見て、庄太は大声で泣き出しました。家に帰りたいとぐずる庄太でしたが、地上に帰る方法が見つかるまで、しばらくカミナリ様の仕事を手伝うことになりました。雨をふらしたり、風をふかせたり、もちろんカミナリをおとしたりするのが仕事ですが、どんな仕事にもいろんな「わざ」や「ちえ」がいます。季節によって雨や風の強さもちがうし、つかう道具もちがいます。自然のしくみについても知らなければなりません。庄太にとってはなにもかも初めての体験で、失敗ばかりでしたが、春から夏へ、秋から冬へと季節はめぐり、泣き虫でわがままな庄太にも少しずつやる気が出てきました。



一年が過ぎたある日のこと、
庄太がなにげなく下界を見下ろ
していると、色とりどりの傘が

干してあるのが見えました。その間を動き回る小さな人かげはきっと母親にちがいません。そう思ったとたん庄太の目からは大粒の涙があふれでました。その涙が陽にてらされてキラリと虹色にかがやいたのを見て、カミナリ様にある考えがひらめきました。……はたして、庄太は無事に家に帰ることができるのでしょうか？



☆新作は7月から上演開始予定です。

29年度作品は、6月中旬までの上演です。
こちらもお見逃しなく！

とらまる人形劇団・第13回作品

だいだらぼっち

大きな「だいだらぼっち」の登場に驚く子どもいれば、「ええひとやけん、大丈夫やで。」と励ます子ども…。大人も子どもも、みんなのヒーローが来るのを待っています。



まるくて、あまくて、うまいもの

まるくて、あまくて、うまいものとはなんでしょう？
「岡山だから桃」「たこ焼き」「みかん」「アイス」
なかには「さしみ」…？ たくさんの答えが返ってきます。



今年度は、交通安全人形劇第4弾も製作！

うさぎとかめⅡ 「いってきまーす！」

保育園に通うかめ子とうさ吉。でも園まで危ないことがいっぱい。
かめばあちゃんとうさじいちゃんも一緒に勉強しよう。
歩きスマホもダメだからね～。



上演後のワークショップもおすすすめです。

舞台装置や人形の仕掛けを紹介したり、舞台裏をのぞくバックステージツアー、人形操作体験など行っております。詳しくはご相談ください。



劇団員より



昔からの天気に関する言い伝えはたくさんあります。カエルが鳴くと雨、夕やけは晴れ、カメムシが多い年は雪も多い。カミナリ様におへそを取られる…、なんてのもあります。雨に関するものが多いようですが、調べてみると単なる迷信ではなくて、気圧や湿度の変化を敏感に察知する動物たちの能力を、先人たちは天候を知る生活の知恵として利用していたのでしょ。おへその言い伝えは、お腹を温めて寝冷えしないようにという教訓かもしれません。天気予報の精度がかなり高くなってきた現在、そういった言い伝えや諺を耳にすることが少なくなりました。猛暑、集中豪雨、大寒波…、いくら IT が進化しても、人間が自然を完全にコントロールすることはできません。だからこそ、先人たちのように季節の色や音を感じながら、自然と仲良く暮らしていけるといいなあと思っています。（松村 歩実）



近い将来、人間の仕事は人工知能に奪われてしまう、なんてよく耳にします。創造的な仕事は大丈夫と思いきや、小説や絵画、音楽まで、既に人工知能で新作が作れるそうです。そのうち人形劇も人工知能で出来ちゃう…?! そんなことに興味を持った私は、なんと人型ロボットと暮らし始めました! といっても、おもちゃ屋さんで買える小さなもので、コミュニケーションができていては、残念ながらもありません。でも、なんとなく生命感があり、愛着も湧いてきました。“モノ”であるロボットに“ヒトガタ”ならではの力があるのかも。面白いけれど、ちょっぴり怖いような…。人間にしかできないこと、私にしかできないこと、もっと考えていきたいです。（菅 麻未）

次回作の『カミナリさまのおしごと』は再演ですが、その秋台風の場面。家が壊れたり流されたりする下界の大変さを見て止めようとする庄太と、それを越えたところで誇りを持ち必死に仕事をする雷様が出てきます。

私が初演で庄太を演じていた期間、日本では、新燃岳噴火、台風 12 号による豪雨（紀伊半島に大きな被害）、東日本大震災など、大きな自然災害が起きました。荒れ狂う自然の強さと、なすすべもない人間の弱さ。私はこの場面がいつも苦しく、被災地へエールと祈りをこめながら上演する日々でした。

災害が多い日本で生きる限り、被害を受けざるをえない時もあるでしょう。でも、傷ついて泣きながらも復興に向けて共に支えあえるこの国の人々の強さを、今は信じています。（中村 美恵）



出不精の私は、仕事以外でいろんなところに出かける時には、前日から「絶対行く!」と自分に言い聞かせ、交通手段や身支度等、準備万端に整え、「エイ!」と気合を入れて家を出発します。

最近、動かなくてもパソコン、スマホで情報は入るし、楽しむことも、買い物も、家の中で事足りてしまいます。でも実際に美術館、博物館、コンサートで鑑賞したり、自然の中に身を置いてみたりすることで、気づくことはたくさんありますし、思いがけない発見や感動に出会うと、贅沢な時間を過ごせたことに嬉しくなります。五感が刺激されると、脳も活性化するらしいです。ならば億劫がって労を惜しんではいけませんね。出かけるには体力と気力が必要だけど、「忙しいから」とか「寒いから」の言い訳は減らそうと思います。（衣斐美和子）



誰でもSNSを通じて気軽に自分の意見を世界に向けて発信することができるようになったのはいいのですが、世界中がコメンテーターになったようで、かましいことこの上ない。しかも、とんでもなく乱暴なものや、ヘイトスピーチまがいのもの、安易な落書きレベルのものがやたら多くて困ったものです。

人間の脳は刺激を外部から受けると瞬時に様々なことを思い浮かべます。その思いは、その段階では単なる「思いつき」であり、それを連続的に点検したり、反芻したり、洗練させたりすることで、はじめて「考える」という行為になります。人形劇の場合はSNSと違って、思いつきのままでは発信できないので、初演までに多くの艱難辛苦を乗り越えて作品を熟成させなければなりません。毎年のことですが大変な季節がやって来ました。いつも楽しみながら創りたいと心掛けてはいるんですが…。 (大久保一康)

自主公演のお知らせ

とらまる人形劇団

はるやすみ人形げきじょう

「だいだらぼっち」「まるくて、あまくて、うまいもの」の上演後、人形操作体験&バックステージツアーもあります。舞台の中をのぞいたり、人形を動かしてみたり、いろんな体験ができます。この機会に大人の方もぜひご参加ください！

日時 2018年3月24日(土)
13:30~(13:00開場)

会場 倉敷市芸文館 202会議室
(岡山県倉敷市中央 1-18 -1)

料金 前売 500円 当日 700円
(大人・子ども同額 2歳以下無料)

※お電話、メールでご予約ください。

■上演・観劇のお申込み、お問い合わせは…

TEL 086-486-1305
メールアドレス puppet@toramaru.link
ホームページ <http://toramaru.link>

✿ブログ(フェイスブック)で近況報告を更新中です。ぜひのぞいてみてね!

とらまる人形劇団 検索